

# doc-ja 版 OSC 2011 Kansai@Kyoto 観光ガイド (仮)

## これは何か？

OSC 2011 京都の出展団体のうち、翻訳をやっていそうな団体について、まとめました。

Doc-ja Archive Project は翻訳プロジェクト間での情報共有をする場ですが、個々の翻訳プロジェクトに関する情報がほとんどない状態です。ということで、osc members ML での情報提供依頼と、一日目にブース担当者へのヒアリングを実施しました。

実線で囲んだ部分はメールで提供された情報 (samba, WikiMedia は OSC 2011 Tokyo/Spring 当時の情報)、破線で囲んだ部分はブースでヒアリングした情報です。

一日目の夜に即席で編集したものであり、ヒアリング先や doc-ja メンバーによるレビューなどはしていません。掲載漏れや誤りなど、お気づきの点があればお知らせください。

2011/7/16 Doc-ja Archive Project 岡野

## Blender User Group of Japan

Blender [アプリケーションソフト、3Dグラフィックス]

「BLUG.JP の目的に」に「より良い Blender ライフのための企画、活動」があり、「海外の Blender 関連のニュース、リリースノートの翻訳などがあげられますが、すでに Blender.jp などで行なわれているものへの協力を指します。」とされている。

blender.jp には、ドキュメント翻訳プロジェクト(JBDP)があり、LaunchPad および PukiWiki (原文は MediaWiki) を使って翻訳作業をしている。

<http://f11.aaa.livedoor.jp/~hige/>

ユーザーグループとしての翻訳プロジェクトというようなものではなく、個人として JBDP に参加する形。

## concrete5 関西ユーザーグループ

concrete5 [CMS]

Usagi Project (linux-ipv6.org とは無関係) で、concrete5 日本語版の翻訳をしている。

動いているのは実質 5~6 人、

OSS CMS の翻訳は、翻訳だけで完結するわけではなく、翻訳しながらソースを直したりしている。

gettext を使っていて PO ファイルを直接編集している。gettext() をかましていないメッセージがけっこうある。ふつうにマルチバイト文字を通したらおかしくなるところを発見するとかもある。これらはソースを修正してもらっている。

翻訳が難しいのは、英語と日本語で文法が違うのに文の中でメッセージが切られているところ。これは修正してもらわずに、無理やり翻訳している。

あとは、デフォルトのコンテンツというのがあるが、文化ごとに言い回しが違ったりする。

## Drupal g.d.o/japan

drupal [CMS]

drupal.org の日本語翻訳チーム

<http://localize.drupal.org/translate/languages/ja>

(PO ファイル)

## Firebird 日本ユーザー会

Firebird[データベース]

Firebird 日本語マニュアルプロジェクトというのがあるが、翻訳でなく独自のもの?

<http://sourceforge.jp/projects/firebird-jp-doc/>

## Geeklog Japanese

Geeklog [CMS]

geeklog 日本語版や翻訳ドキュメントを配布している。日本語訳は全部やっている。作業は SNS でやっている。

日本語独自のリポジトリは svn、本家は Mercurial。言語ファイルは PHP の配列。

日本人開発者は 10 人ぐらいいる。

何か意見があれば、geeklog の掲示板に書くか、SNS で日記を書くか、twitter で #geeklog をつけてつぶやくか、facebook でぼそつと言うかすれば、反応する。開発者になるのは難しいが、意見は聞く。

## GentooJP

Gentoo Linux [Linux・BSD ディストリビューション]

[http://www.gentoo.gr.jp/jpmain/docs-list.xml#doc\\_chap1](http://www.gentoo.gr.jp/jpmain/docs-list.xml#doc_chap1)

Gentoo Project ドキュメントの翻訳

<http://www.gentoo.org/doc/ja/index.xml>

Gentoo Linux Project のドキュメント一覧

<http://www.gentoo.org/proj/en/gdp/doc/translators-howto.xml>

Translators Howto for Gentoo Documentation

作業は GuideXML、公開は HTML と PDF

## Japan Zope users group Team

Zope[CMS]

<http://zope.jp/documents>

Documents - JZUG 日本 Zope ユーザー会

<http://docs.zope.jp/>

docs.zope.org の和訳

## Open Street Map Japan

OpenStreetMap [フリーコンテンツ作成]

<http://wiki.openstreetmap.org/wiki/JA:Index>

JA:Index

OpenStreetMap Wiki (MediaWiki) の翻訳

ドキュメント翻訳は MediaWiki でやっちゃっているの、面倒くさいということはない。  
もちろんソフトの翻訳もあって、PO ファイルを直接編集して面倒 (そこまでやろうという人は意欲があるので、デベロップチームに入ってやっている。一般の人が入る領域ではない)。  
あとは訳語の統一とか。地図とか地理とか独特の用語があって、そういうのがちょっと、みんなが思い思いにやっていることが多い。  
OSM の場合は、翻訳パーティーをやろうかって話している。

## Project Vine

Vine Linux [OS]

<http://vinelinux.org/spec-tr.html>

SPEC 翻訳プロジェクト

(RPM の Spec ファイル)

Project Vine のなかにはドキュメントチームというのがある。そのなかで翻訳もやっている。他の RedHat 系 distro の SPEC ファイルの Summary や description は英語だけだが、Vine では ja を加えて、英語と日本語どちらも出るようにしている。最近あまりアクティブでないが、地道に動いてはおり、core, main にはだいたい日本語がついている。どうしても英語アレルギーのようなひとはいるので、Vine の売りといえる。

## TYPO3 UsersGroup JAPAN

TYPO3 [CMS]

ユーザーグループのメンバーが日本語ドキュメントのマネジメントをしているが、翻訳プロジェクトはユーザーグループではなく TYPO3 Association という団体が統括している。ここにドキュメントチームがあって、こちらにコミットしている。

公式サイトは [forge.typo3.org](http://forge.typo3.org) で、各国の担当者の人がいる。

## Ubuntu Japanese Team

Ubuntu [Linux ディストリビューション]

<https://launchpad.net/%7Eubuntu-110n-ja>

Ubuntu Japanese Translators

(LaunchPad)

twitter ID @kuromabo という人がリーダー (土曜日に来るかも? 来ないかも?)。

## WordPress 地域コミュニティー「WordBench 京都・滋賀」

WordPress [CMS]

WordPress 日本語版作成チームが Google Group にある。メーリングリストで活動しており、リリース前にはそこそこ活発。

登録者は 30~40 人はいるが、手を動かしているのは 4~5 人くらい。

年 2 回ぐらいメジャーリリースがある。メジャーリリースごとに翻訳リリースリーダーが決められ、リーダーがほとんどの作業をする。なるべく負担を集中させないようにするため、4~5 人くらいで持ち回りで担当している。

gettext のメッセージを、pootle のような「GlotPress」という web システムで翻訳している。

<http://blog.glotpress.org/>

<http://translation.wordpress.org/>

WordPress 3.2 の新機能で Ephemera widget というのがあり、どう訳すかが議論になった。「エフェメラウィジェット」とは何を指すかわからず、「カゲロウ」「ちらと出すウィジェット」「小さい付箋」「一筆啓上」「短信」といった案が出たがどれもなんか違う。「短冊」でいいや、と決定した。

<http://ja.wordpress.org/2011/07/11/ephemera/>

今回妥協したものは「アサイド」。「小ネタ」では軽いと考え「アサイド」にした。

今時の web 用語は翻訳が難しい。こういった業界で新しい言葉は、他の翻訳プロジェクトも巻き込んで検討すると、時間はかかるがいい訳語が出ると思う。doc-ja で新しい言葉の訳語を決めるといふのをやるといいと思う。

## Zen Cart.jp

Zen Cart [ネットショップ構築 CMS]

<http://zen-cart.jp/60.html>

日本語化プロジェクトチーム

## 神戸 隆博 (個人)

Contao[CMS]

<http://www.contaocms.jp/translated.html>

翻訳文書

日本語翻訳を突っ込める権限があり、個人でやっている。まず国内でコミュニティーを作らないといけないところ。協調する仕組みがないといけない。

## 関西 Debian 勉強会

Debian [OS,Linux ディストリビューション]

## 関西 LibreOffice 勉強会

LibreOffice [デスクトップアプリケーション]

pootle でやっている。アクセス権限があるメンバーを追加する権限を持っているのが2名、コミット権限を持っている人が5~6人。

LibreOffice の翻訳は OpenOffice.org 3.3 の段階の翻訳をまるっと引き継いでいる。3.4 では追加機能の新規翻訳をしているが、今後、新規機能の翻訳をするほかに、OpenOffice.org から引き継いだ訳の修正も同時並行でやっている。

既存の訳にひどい訳がたくさんあり、誰かが見つけてメーリングリストに投げると、ひとつひとつ議論しながらやっている。

LibreOffice は毎月リリースしており、3.4.1 から 3.4.2 の間にあった修正は、たとえば、Writer の「ツール」→「オートコレクトオプション...」にある「ワードコンプリーション」という翻訳がわかりにくいことから、3.4.2 からは「単語の補完」に変更した。

こういう修正をちくちくちくちくやっている。これが積み重なれば、すごい使いやすくなるはず

## 関西ウィキメディアユーザ会

WikiMedia [集合知・自由な知]

#### プロジェクト名称

translatewiki.net

#### URL

<http://translatewiki.net/>

#### 翻訳対象

MediaWiki（ウィキソフトウェア）、FreeCol（ターン制戦略ゲーム）、OpenStreetMap（自由に編集可能な地図）、StatusNet（マイクロブログサーバー）ほか多数

#### 翻訳対象ファイル形式

翻訳作業はウィキ上（オンライン）で実施。ただし.po でダウンロードして翻訳して、アップロードも可能。

#### 参加したい場合の連絡先

<http://translatewiki.net/wiki/Special:FirstSteps> から参加登録。

#### ちょっとした誤訳の指摘をするときの連絡先

[http://translatewiki.net/wiki/Portal\\_talk:Ja](http://translatewiki.net/wiki/Portal_talk:Ja) へ書き込むか、翻訳登録をして自身で修正。

#### 問題点

参加者がMediaWikiの翻訳、それもウィキメディアの利用者に偏っており、多様な視点からの意見が出にくい。品質管理がない。

#### 欲しい人材

ウィキでの編集に問題ない方（自分の成果物も容赦なく変更される、必要と思ったことは誰かに頼むではなく自分でやる、初心者も熟練者も平等に扱われる、など）

### プロジェクト名称

メタ・ウィキメディア日本語翻訳プロジェクト

### URL

[http://meta.wikimedia.org/wiki/Translation\\_requests](http://meta.wikimedia.org/wiki/Translation_requests)

### 翻訳対象

Wikimedia プロジェクト公式サイトメッセージ

### 翻訳対象ファイル形式

MediaWiki 記法のテキスト

### 参加したい場合の連絡先

[translators-l@lists.wikimedia.org](mailto:translators-l@lists.wikimedia.org) に subscribe,

ただし必須ではない。meta.wikimedia.org にアカウントを作成(通常は ja.wikipedia.org と共通)

### ちょっとした誤訳の指摘をするときの連絡先

・財団サイト(wikimedia.org)については

Wikimedia website feedback

[http://meta.wikimedia.org/wiki/Foundation\\_wiki\\_feedback](http://meta.wikimedia.org/wiki/Foundation_wiki_feedback)

・meta.wikimedia.org 上の MediaWiki ページについては、それらの「トーク」ページ(以上、公開連絡先)

[translation@wikimedia.org](mailto:translation@wikimedia.org) (非公開)

### 問題点

翻訳依頼が急に来る。短納期。Wikimedia Project が分かってない人が翻訳するとちんぷんかんぷんな内容になることがある。

### 欲しい人材

自然な日本語が書ける人。ある程度 Wikipedia の仕組みが分かっている人だとなお良い。  
meta.wikimedia.org は誰でも編集できます！)

## 日本 Asterisk ユーザー会

Asterisk [オープンソース PBX]

<http://voip-info.jp/> で Asterisk の日本国内向けパッチや日本語音声ファイルを配布している

ぶっちゃけ一人でやっている。

元のプログラムがひどい。国際化とか考えていない。

## 日本 GNOME ユーザー会

GNOME [デスクトップ統合環境]

プロジェクト名称:

the GNOME Translation Project 日本語チーム

URL

<http://www.gnome.gr.jp/>

<http://live.gnome.org/TranslationProject>

<http://l10n.gnome.org/teams/ja>

翻訳対象

GNOME の日本語メッセージカタログ、ドキュメント

gnome.org や gnome3.org のコンテンツ

翻訳対象ファイル形式

gettext 形式 (DocBook、Mallard、ウェブも gettext 形式経由)

参加したい場合の連絡先

<http://mail.gnome.gr.jp/mailman/listinfo/gnome-translation>

ちょっとした誤訳の指摘をするときの連絡先

<http://mail.gnome.gr.jp/mailman/listinfo/gnome-translation>

問題点

gnome.gr.jp が半ば放置状態

欲しい人材

査読者

その他なんでも

## 日本 NetBSD ユーザーグループ

### NetBSD [OS]

プロジェクト名称

www.NetBSD.ORG 翻訳プロジェクト

URL

<http://www.jp.NetBSD.org/ja/JP/Project/www-ja/>

翻訳対象

www.NetBSD.org のコンテンツ

翻訳対象ファイル形式

DocBook/XML

参加したい場合の連絡先

[www-changes-ja@jp.NetBSD.org](mailto:www-changes-ja@jp.NetBSD.org) に subscribe

ちょっとした誤訳の指摘をするときの連絡先

[www@jp.NetBSD.org](mailto:www@jp.NetBSD.org)(非公開) または [www-changes-ja@jp.NetBSD.org](mailto:www-changes-ja@jp.NetBSD.org)(公開)

問題点

NetBSD.org 本家が翻訳を中止し、成果物を公開できていない

欲しい人材

NetBSD 時間 (問題解決に何年もかかる) を気にしない方

## NPO 法人日本 PostgreSQL ユーザー会

PostgreSQL [データベース]

「日本 PostgreSQL ユーザー会 文書・書籍関連分科会は PostgreSQL 関連の文書の翻訳、作成、整備、書籍出版等ドキュメンテーション全般に対して作業を行う目的で設置されました。」

<http://www.postgresql.jp/document/>

日本語ドキュメント

付属ドキュメント: DocBook/SGML で作業、HTML, PDF で公開

JPUG web ページの英訳: HTML

「翻訳の文科会で、新リリースが出ると「さあやれ」といったメールが流れる。中心メンバー 2~3 名がほとんどやっているかんじ。」

## 日本 Samba ユーザー会

samba [ファイル共有]

### プロジェクト名

Samba 翻訳プロジェクト

### URL

[http://wiki.samba.gr.jp/mediawiki/index.php?title=Samba\\_%E3%83%89%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E7%BF%BB%E8%A8%B3%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88](http://wiki.samba.gr.jp/mediawiki/index.php?title=Samba_%E3%83%89%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E7%BF%BB%E8%A8%B3%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88)  
※短縮 URL: <http://ow.ly/48ipF>

### 翻訳対象

Samba のアーカイブに同梱されているドキュメントなど

### 翻訳ファイルの形式

主に XML ファイル (Samba が DocBook を採用しているため)

### 参加したい場合の連絡先

samba-jp メーリングリストでの参加表明など

### ちょっとした誤訳の指摘先など

誤訳の指摘先は言われてみればないかも、です。

### 問題点

とにかく動けるひとが少ない

昔からやってる人が多いので、たぶんノリややり方が最近の人に受けない&そもそも Samba みたいな基盤系のソフトウェアに興味を持つ人が少なくなってるんでしょうね。DocBook を採用しているので、ドキュメント生成環境を作るだけでも結構大変

### ほしい人

とにかく動けるひと